

琵琶湖流域で活動する「河川レンジャー」募集

琵琶湖およびその周辺で、住民・行政の連携・協同を行う人(河川レンジャー)を募集します。

● 募集期間 ●
2月1日(火)～23日(水)

応募資格	<ul style="list-style-type: none"> 活動を行う意思、意欲のある方 満20歳以上の方(平成23年4月1日現在)
募集人数	若干名
応募方法	氏名、性別、職業、生年月日、住所、電話番号、活動経験、課題:あなたが考える「住民と住民、住民と行政をつなぐために河川レンジャーになって実現したいこと、それを達成するための具体的な方法」を応募用紙に記入の上、郵送またはFAXでお申し込みください。

※応募用紙はウォーターステーション琵琶、同HPから入手いただけます。

問い合わせ・申し込み

ウォーターステーション琵琶 河川レンジャー制度運営委員会事務局
〒520-2279 大津市黒津4-2-2
TEL077-536-3520 FAX077-536-3530



ウォーターステーション
イメージキャラクター「しずくくん」

水口税務署からのお知らせ 平成22年分確定申告

- 期間 / 2月16日(水)～3月15日(火)
- 土・日は開設していません。
- 時間 / 9時～17時
- 会場 / 水口社会福祉センター 福祉ホール
- 当会場では納税はできませんので、税務署またはお近くの金融機関等をご利用ください。
- 開設期間中は、水口税務署庁舎内には確定申告会場を設けていません。

作成済みの申告書等の受付、納税、納税証明書の発行および用紙の交付のみを行います。

※会場では、パソコンを利用した申告書の作成を推進しています。

お問い合わせ
水口税務署 個人課税部門
☎62-10314

※自動音声によりご案内しています。アナウンスに従い操作してください。

ひとり親家庭等 入学支度金の申請

市では、児童の健やかな成長、学校生活の充実を願って、小学校、中学校に入学する児童を養育しているひとり親家庭(母子家庭、父子家庭)の母(父)、または養育者家庭の方に、入学支度金を支給します。

● 対象
平成23年2月1日現在、市内に引き続き1年以上お住まいの方(住民登録がある方)で、平成23年4月に小学校、中学校に入学される児童を監護しているひとり親家庭もしくは、両親のいない家庭の方。

● 申請期間
2月1日(火)～28日(月)の土・日・祝日を除く
午前8時30分～午後5時15分

● 申請場所
市民窓口センターおよび各支所地域窓口課

● 支給額
● 小学校入学(平成16年4月2日生～平成17年4月1日生) 5,000円
● 中学校入学(平成10年4月2日生～平成11年4月1日生) 10,000円

● 支給日 3月31日(木)
※手続き期間後の申請は認められませんのでご注意ください。(個別に通知はしません。)
※支給要件等詳細はお問い合わせください。

問い合わせ
社会福祉課 児童家庭支援係
☎65-0705 ☎63-4085

こうかまちかど特派員

こうかまちかど特派員

みたけ よしえ
見岳 慈恵



▲子育て支援センターで朝ごはんのことをPR

このサークルは、「子どもの心と体を健康に育てるためには、ごはんを中心とした和食がよい」と考える母親の会です。母親の立場から、そのよさについて勉強し、一緒に考える仲間を広がっていく活動を市内全域で行っています。

マとした展示物を市内の図書館や保健センター、子育て支援センター等に巡回展示したり、甲賀地域の野菜を使った伝統食や漬物等の料理教室の開催や定期的に粒っ子ニュースを発行したりしています。

数年前、朝ごはんをテーマとした食育フォーラムがあり、そこで「ごはん」とみそ汁という昔ながらの日本人の朝食のよさを「朝ごはん」展示で紹介しました。一般に朝はパンなら簡単、ごはんは面倒だというイメージがあるかもしれませんが、写真つき簡単朝ごはんファイルや常備菜レシピ等を紹介することで、ごはんの朝食は意外と簡単に栄養的にもバランスの取れた食事になると提案しました。他にもサークルメンバーの子どものおやつ事情を話し合った「おやつ」の展示「や、毎日使うものだから体に安心なもの」と調べた「調味

料の展示」、子どもたちにもっと「ごはん」に関心を持ってもらおうと、稲の生育をイラストを交えて紹介した「子ども向けの展覧会」等があります。



▶定例会での試食会

料理教室では今までに、みそづくりやぬか漬け教室、漬物教室、子ども対象の郷土料理教室等を行いました。これらの教室で実際にみんなで作ってみんなで味わってみることで、各家庭でもつくることができるきっかけとなり、子どもたちも和食になじんでくれるといいなと思います。

「粒っ子 ニュース」は、メンバーの食に関する旬な話

パンも好き、うどんも好き、ラーメンも好き、ラーメンも好き。いろんな国の食べ物も好き。でも、日本人に生まれて一番よかったと思うのは、ほかほかのおいしいごはんをほおばる瞬間ではないでしょうか。

今回は食の多様化が進む中、日本人の原点であるごはんの素晴らしさをもっと多くの人に伝えたいと活動しているサークルで、私自身も所属している「大好き!ごはんの会粒っ子」を紹介しています。

大好き!ごはんの会粒っ子

「ごはん」で伝えたい母のぬくもり



文化祭で黒豆ごはんを出店▶